

二〇二六年度 入試向け

桃山学院中学校 プレテスト第二回 問題

国語【五十分・百五十点】

注意事項

- 1 問題用紙は1ページから14ページまであります。
- 2 「開始」の合図があるまで問題用紙は開いてはいけません。
- 3 受験番号と名前を解答用紙と問題用紙に正しく記入してください。
- 4 解答用紙の余白には何も記入しないでください。
- 5 計算機能付き腕時計・携帯電話は使用禁止です。
- 6 「終了」の合図で筆記具を置き、監督の先生の指示に従ってください。

受 験 番 号					名 前
P					

【一】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（字数制限がある）
問いは、句読点とその他の記号も一字に数える）

あなたは朝起きてから、まずは何をしますか？ 歯磨きをして顔を洗いますよね。それから朝食でしようか。

歯磨きや洗顔料は、どこかの店で買いましたよね。朝食の材料も、あらかじめ買ってあったはずですよ。

買い物はどこでしたか？ 全部インターネットで買っているという人もいるかもしれません。あなたがどこで何をかうか、無意識のうちに判断しているはずですよ。これらは実はすべて経済活動なんです。① あなたは朝起きてから夜寝るまで、経済活動とは切り離せない生活をしているのです。

経済とか経済学とか聞くと、なんだか難しいことのように思えるかもしれませんが、すべては私たちの生活に関わるのです。

あなたが買い物をするときには、当然のことながら値段を気にしますよね。② その値段は、どうやって決まるのでしょうか。

「需要と供給」という言葉を聞いたことがあるかもしれません。

「需要」とは「欲しい」「必要だ」という意味で、「供給」とは「提供します」「渡します」という意味。A 「買いたい」という

人が「需要」の立場、「売りたい」という人が「供給」の立場です。

ある商品が欲しいという人が多ければ、その商品を持っている人は強い立場になりますね。「売ってあげるよ」と、まるで上から目線のような態度になるかもしれません。

一方、欲しい人が少ないと、売るための商品をたくさん抱えている人は焦ります。「どうぞ買ってください」とへりくだった態度

度に出るでしょう。B、今度は買う側が、「買ってやつてもいいぞ」と上から目線になります。

私たちの社会では、あらゆる商品やサービスが、こうして売買されています。えっ、サービスが売買されるって、どういうこと？ と思いますか。これは、具体的な物の形になっていないけれど値段がついて売買されるものをいいます。たとえばマッサージ代や美容院のカット代などですね。こうした料金も需要と供給の力関係で決まっています。

このように商品やサービスが売買される社会は「③ 市場経済」と呼ばれます。「市場」とは、「いちば」と発音するのではなく、「しじょう」と読みます。

「いちば」は、魚市場や青果市場のように、商品を売りたい人と買いたい人が集まってセリ（注）を行い、値段がついていく、その具体的な場所を指します。

【あ】 これに対して「しじょう」とは、世の中の商品の値段やサービスが、④ 売りたい人と買いたい人の数によって決まる仕組みのことをいいます。具体的な場所があるわけではなく、バーチャルなイメージです。

【い】 商品を売りたい人は、少しでも高く売れるように、商品の品質を良くしようとします。魚だったら、獲れたての新鮮なうちに売ろうとします。野菜なら、新鮮で、形のいいものを売りたいと考えます。

【う】 一方、買う側は、少しでも安く買いたいですから、いいものを

安く売る人を見つけようと思います。売る側も、買う側も、激しく競争するのですね。

【え】

こうして、私たちの社会では、「競争によっていいものが生まれる」という考え方が定着しました。

【お】

ところが、「市場経済」はいいことばかりではありません。かえって悪い結果になることもあるのです。これを「^⑤市場の失敗」と呼びます。

会社同士が激しく競争することで、消費者にとっていい商品やサービスが提供されるようになれば、「市場経済」はとてもいいことです。

しかし、激しい競争の結果、大企業^{だいきぎやう}が勝ち、それ以外の会社がつぶれてしまったら、その会社で働いていた人たちの仕事が無くなります。

また、競争相手が姿を消せば、生き残った大企業は、商品やサービスの価格を値上げするかもしれません。そうなったら、かえって消費者に不利になってしまう可能性があります。これが「市場の失敗」です。

これを防ぐには、どうしたらいいでしょうか。そこで考えられたのが、「独占禁止法^{どくせんしんしほう}」という法律です。

競争で勝ち残った会社が勝手なことをしないように取り締まる^{しだまる}ものです。会社同士が健全な競争をすることは大事だけれど、その結果、かえって不公正なことになる危険性があるので、それを防ぐという狙い^{ねらい}があります。

こうした可能性を考え、社会のみんなにとって一番いい経済の

仕組みを考える。これが「経済学」なのです。

経済学と聞くと、なんだか「金もうけ」の学問のような気がするかもしれませんが、そうではないのです。確かに経済学を勉強し、その知識を生かしてお金持ちになった人もいます。しかし、^⑥それが主な目的ではないのです。

世の中に「経済学者」と呼ばれる人は大勢いますが、みんながお金持ちというわけではありません。私は毎年、ある大学の経済学部と呼ばれて、新入生に経済学について話をしています。このとき「経済学の専門家だって、みんながお金持ちというわけではないんだよ」と言うと、学生たちの後ろで私の話を聞いていた先生たちが苦笑いします。暗に「その通りだよ」と認めているのです。

経済学とは、実は、「^⑦資源の最適配分」を考える学問なのです。この場合の「資源」とは、食料や燃料がもちろん含まれますが、それだけではありません。人材つまり人間の労働力も含まれます。地球上の資源は限られています。限られた資源を、最適に配分することを考える学問です。

一方に大量の食料が余り、もう片方では食料不足で苦しむ人がいる。これが現実の世界です。もしあふれている食料を、足りない人たちにうまく配分することができたら、世界はずっと平和になることでしょう。

世界には、若くて体力があり、「働きたい」と思っているのに、仕事がなく、失業している人たちが多くいます。働けるのに働けないということは、社会の中で、自分が意味のない存在に思えてしまいます。「自分は世の中のために役立っていない」という思いは、その人の人間としての誇り^{ほほ}を失わせるものです。

一方で、人手不足で困っている社会もあります。こんなアンバランスを解消できたら、この世の中は、もっと住みやすくなることでしょう。

これが「資源の最適配分」を考えるとということなのです。経済学の研究を志した先生たちは、「世の中を少しでも良くするにはどうしたらいいか」と理想に燃えて学問の道に入ったのです。

イギリスの有名な経済学者アルフレッド・マーシャルは、「クールヘッドとウォームハート」（冷静な頭脳と温かい心）という言葉を残しました。世の中の仕組みを分析するには「冷静な頭脳」が必要だけれど、世の中の人々のためになるにはどうしたらいいかという「温かい心」を忘れてはいけない、と言ったのですね。でも、これは経済学に限ったことではありませんね。社会のさまざまな問題を説明して解決しようとする人たちに共通する重要な姿勢です。

（池上彰『池上彰の経済学入門』）

※（注1）セリⅡ最も高い値をつけた人が購入する権利を得る取引引き方法。

（注2）バーチャルなⅡここでは、具体的な形をもたないという意味。

問1 — ①「あなたは朝起きてから夜寝るまで、経済活動とは

切り離せない生活をしているのです」とあるが、なぜか。最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

あ 身の回りのものを全てインターネットで買えるほど、便利な世の中になったから。

い 人間は起きている間じゅう、無意識に買い物のことを考えてしまう生き物だから。

う 朝起きてから夜寝るまでにすることにはすべて、買った物が関わっているから。

え 生活に必要なものを買うときには、少しでも安く買おうと考えるものだから。

問2 — ②「その値段は、どうやって決まるのでしょうか」と

あるが、その答えを説明した次の文の□にあてはまる言葉を、本文中から九字でぬき出しなさい。

※あらゆる値段は□によって決まる。

問3 A・Bにあてはまる言葉の組み合わせとして最も

適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- あ A すると B しかし
い A だから B つまり
う A つまり B すると
え A しかし B だから

問4 — ③「市場経済」とあるが、筆者は市場経済をどのよう

な社会だと述べているか。最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- あ 美容院のカット費用などの形をもたないものを除いた具体的な商品が売買される社会。
い 魚市場や青果市場のように商品を買りたい人と買いたい人が直接集まって金額を決定する社会。
う 具体的な形をもたないサービスや具体的な商品がインターネットを通じて売買される社会。
え 具体的な商品やマッサージ代などの物の形になっていないサービスが売買される社会。

問5 — ④「売りたい人と買いたい人の数によって決まる」と

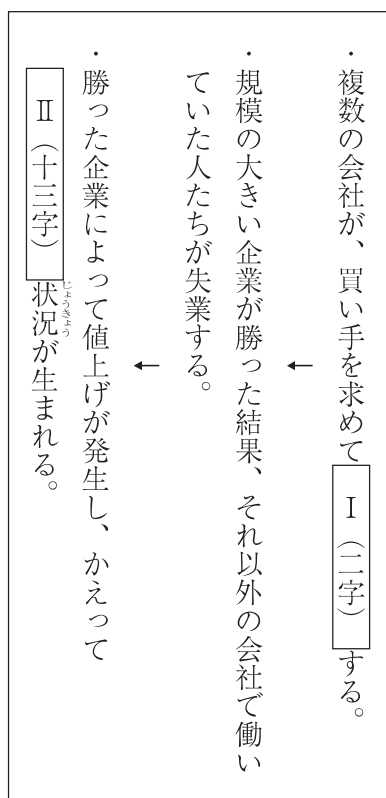
あるが、なぜ値段が人の数で決まるのか。その理由として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- あ 売りたい人が多いと商品やサービスが売れずに値段が下がり、買いたい人が多いと高く売れるようになるから。
い 売りたい人は、多くの商品やサービスができるだけ高い値段で、買いたい人に行き渡るようにしようとするから。
う 売る人が増えれば増えるほどその商品やサービスが流行し、それによって買う人が増えて値段も上がっていくから。
え 魚市場のような具体的な場所がなく、売りたい人と買いたい人がバーチャル上で大規模な売買を行うから。

問6 — ⑤「市場の失敗」とあるが、そのしくみを説明した次の図の I・II にあてはまる言葉を、それぞれ（ ）

の字数指定にしたがって、本文中からぬき出しなさい。

図



問7 本文には、次の一段落がぬけ落ちている。本文中の【あ】
「【お】のうち、どこに^{もと}戻すのが最も適切か。最も適切な場
所を選び、記号で答えなさい。

その結果、私たちは、新鮮な魚や形のいい野菜を、それ
ほど高くない値段で食べることができるようになっていま
す。

問8 — ⑥「それが主な目的ではないのです」とあるが、学者
が経済の研究に進むのに求められるのはどのようなことだと
筆者は述べているか。最も適切なものを後から選び、記号で
答えなさい。

- あ 世の中の仕組みを冷静に分析するには、人々のためになる
にはどうすればよいかを考える必要があると理解すること。
い 世の中の仕組みを冷静に分析するとともに、世の中を少し
でもよくするためにはどうすべきかという信念をもつこと。
う 世の中の仕組みを冷静に分析することが、世の中の人々の
ためになっているという自覚をもつこと。
え 世の中の人々のためになるには何が必要かという「温かい
心」をもち、社会のさまざまな問題を理解すること。

問9 — ⑦「資源の最適配分」とあるが、なにをどうすること
か。次の文の□にあてはまるように、「資源」「配分」と
いう二つの言葉を必ず使って五十字以内で書きなさい。

※食料や燃料だけでなく、□すること。

問10 次の①～④の各文について、本文の内容と照らしあわせて、
正しければあを、間違っていればいを書きなさい。

- ① 競争によっていいものが安く買えるのは、商品を買りたい
人の努力によるもので、健全な市場経済のためには買いたい
人も同じように努力しなければならない。
② 地球上の限られた資源はかたよって存在しており、働きた
くても働けないという人材のかたよりは、人間としての誇り
を失わせることにつながる。
③ 経済学が他の学問に比べてすぐれている点は、「冷静な頭
脳と温かい心」によって世の中をよりよくしていこうと考え
るところである。
④ 市場経済において会社間の競争は大切だが、競争の結果、
不正が生じることを防ぐために「独占禁止法」という仕組
みができた。

二

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(字数制限がある問いは、句読点とその他の記号も一字に数える)

曾谷^{そたに}は、中学受験の大手塾^{じゅく}で塾講師を務めている。この日、曾谷は授業でやる気のない態度を取り続ける塾生の宮井^{みやい}をどなってしまう。授業後、宮井と話をなるべく、空き教室へ向かった。

机のイスを引き出して座^{すわ}り、宮井にも座るように促^{うなが}した。

何をどう話すか考えてはいない。向き合って座りはしたものの、宮井は目を合わせない。ただ何かもやもやするものが胸中にあるのだろうと思う。決定的な不満が自分に対してあるのなら聞きたいが、解決の策の用意はいまのところない。

「漢字テストの点数が悪かったのはどうしてだ」「さっきの態度は何だ」……。どう切り出しても批判になる。宮井にも非があるのだから咎^{とが}めるのは間違^{まちが}いではないが、それだけで事は終わらない。① 何が悪いかを指摘^{してき}するのは簡単だが、正常に作動するようにしてやるまでが仕事だ。

窓外に夜の気配が立ち込^こめ始めた静かな教室のなかで、宮井の方から口を開いた。

「さっきは、すみませんでした」

何度か口のなかでもごもごと言葉を転がしたあとで、そういった。

「何に、宮井は謝^{あやま}っているんだ」

(注1)とばた 戸畑の言葉を借りただけだが、無策だと自分を詰^なづけている場合ではない。

「……ダメなことに」

「何がダメなんだ」

「僕^{ぼく}です」

「僕のどこが」

(注2)ぜん 禅問答だ。

黙^{だま}り込み、再び俯^{うつむ}きかけた宮井に、「いつからダメになった?」と訊^{たず}ねると、え、という表情を宮井は浮^うかべた。

「以前の宮井はダメじゃなかっただろう。違うか」

「……」

「はつきりいつてやるがダメじゃなかった。いまのきみのことも、おれはそれほどダメだと思っていない。だが今日の態度はダメだった。漢字テストのことじゃなく。ヤル気が出ていないところがない。そのヤル気が出ていない理由があるんだしたら、おれはそれを知りたい」

「うーん、……」

と唸^{うな}って思案し、「そっか」とつぶやく。「何が」と問わずに曾谷は宮井が続けるのを待つ。

「そっか。ヤル気が出てなかったのか」

「そうだ」

「何でなんだろう」

そういつて思案する表情を浮かべ、それがくしゃりと崩^{くず}れると、口唇^{くつひん}を噛^かみ、頬^ほを真っ赤にして、ぎゅっと目が閉じられた。

真っ赤になった目を潤^{うる}ませ、「何でかな」と宮井はもう一度つぶやいた。曾谷に問う口調ではなかった。

② だが、求められている、と曾谷は思った。

「やってるんだけどな、僕^{ぼく}なりに……」

「……」

「③ヤル気だつて」ぼそりとつぶやいた宮井に、「そうだな」と曾谷は答えた。「そうだな、よくやつてるよ。宮井は」と本心から告げた。「なの」と、その言葉が届いているのかいないのか。自分の内側を確かめるように、ゆっくりと宮井は吐き出し、「なのに？」と曾谷が優しく問うと、「なのに、何だか上手くいかないんだよね……。何でかな」と、苦悩は一周して初めと同じところに戻って来た。

曾谷は確かめるように手を開き、一、二度、指を伸ばしたり曲げたりしてから、いった。

「宮井は、ピアノ弾く？」

首を振る。

「まあ、弾くと思いなよ。次に演奏するのはこの曲だ、と楽譜を渡される。それを見てこんな音かと理解する。メロディの感じも判った。やってみれば指も動いた。弾けた。——本当にそれで弾けたといつていいんだろうか」

④ 答えはなかった。曾谷の問い掛けを考えているのか、いないのか。曾谷の言葉が耳に入り、届いているのか、いないのか。判らない。だが、それでも続けて何かを宮井に伝えなければならぬ、と曾谷は思った。

「野球はするんだつたな。ピッチャーだろ」

⑤ 今度は、うん、と頷いた。ぎこちなかったが、確かに。言葉は伝わっている。

「おれが変化球を教えてやる。握りはこうだ。やつてみる、……。そう。それで投げてみる。どうだ、すぐに曲がつたか？」

少し間が空く。この人は何をいつているのだろう、と宮井は考えている。黙って待つっていると、逡巡しながら、

「そんなすぐには曲がらないよ。練習しないと」と答えた。

「その通り。でも握りは教えた通りに出来る」

「それでも。練習しないとすぐには上手くできない、……。んじゃないかな」

⑥ そうだ、と曾谷は頷いた。

「譜面を初見で弾けたとしても、それだけじゃいい演奏にはならない。繰り返し何度も練習して、そして本当に弾けるようになる。より素晴らしい曲になる。変化球も同じ。握りが判ったからって、いきなりキレッキレの変化球が投げられるわけじゃない。指が裂けるまで、血が流れるまで投げ込んで練習して、ようやく鋭いキレ味の変化球が投げられるようになる」

宮井が曾谷の方をむいた。まだ訝し気だ。それでもようやく宮井と曾谷の顔が合った。何をいいたいか判るかい、と訊ねると、真面目に考え、それでも、うーん、と宮井は唸った。

「なにごとにも練習が必要なんだ。スポーツなら判りやすいだろう。こうしなさい、と一度教えられたところで、すぐに上手にできないことはみんな知っている。なのに、受験勉強だけは、一度教えられただけで出来るって思う人がいる。教えたらその通り、すぐに解けると思う人がいる。変だと思わないか」

はっとした様子も、何かが腑に落ちた感じもない。一見無表情なままだつた。だが、僅かに変化があつたと思う。

「頭では判ったつもりでいる。でも思うように身体が動かないなんてことは、よくあることだ。楽器を演奏したり、スポーツをしたり。勉強だって同じ。頭で判っているつもりなのに、思うように解けなくて困っているんじゃないのか。宮井は」

当て推量だ。だが、きっとそうに違いない、と思っていた。

「……かも」と⑦ 小声で宮井は頷いた。

「そういうときに、こうすればすぐ解決する、といった提案をしてやればいいんだが、そんなものはない。だが『こんな筈ではない』と抗つてもただフォームを崩すだけだとおれは思うよ。いまある状態を受け入れて、ただ出来ることを、ひたすらやり続けるしかないんじゃないかな」

不貞腐れるなんて以ての外だ、というと照れくさそうな笑みを微かに浮かべた。

「不貞腐れてなんか」

「どうだか」

休憩時間がそろそろ終わる。教務室に戻って来ない事情を察し、めぐみ(注6)が何かしらの対応を次に曾谷が入るB2クラスでしてくれていると期待した。だが、算数の授業が始まるのに宮井を引き留めたままにはできない。軽食を摂らせる時間も奪っている。

「戻ろう」と促す曾谷の声に応じず、

「先生は、子どもの頃、野球してた？」

と宮井が訊ねた。

「してない。嫌いだった」

「どうして」

「下手だったからだ。下手だったからおもしろくなかった。おもしろくなかったから上手になりたいとも思わなかった。上手になりたいと思わないから練習もしない」

「もし、練習してたら？」

「上手くなって、おもしろいと思うようになり、より練習してさらに上手になっていたかも」

公園、小学校の裏、友だちが住んでいた集合住宅の中庭。⑧ いぶん長い間、思い出すことのなかった場所が、不意に目の前に浮かんだ。

「そうになったら、きっと塾の教員にはなっていないし、ここでこうしてきみと話していることもない」

曾谷がこれまで一度も見たことがない子どもらしい笑みを宮井は浮かべ、

「練習しないと上手くならないことを、どうしてみんなするんだろう」

「急に哲学的な問題をぶっこんでくるね」

宮井はきよとした表情を浮かべた。

「何でもそうだよな」曾谷はいった。

「基本的に人は最初は何も出来ない。ときどき、自分は才能で何でも出来るみたいな顔をしているヤツがいて、無性に腹が立つ」涙の跡が残る目のまま、くすつと宮井が笑う。

「初期化したばかりのコンピュータと同じさ。そこにいろいろインストールしていけばいいと気付いた人間は新たな能力を自分のなかへ入れていくことが出来る。気付かない人はそのまま。何も出来ない。でも偉そうな顔だけはしている。インストールは「努力？」と宮井が訊ねたので、「努力って言葉は好きじゃないけど」と曾谷は返し、

「工夫かな」

と答えた。

「練習でもいい。インストールしようと思う気持ちだが、ヤル気だな」

と曾谷は告げた。

十九時からの授業は始まっている。Sクラスは算数。B2では生徒が国語の準備をして曾谷が来るのを待っている。めぐみが上手くやってくれている筈だと信じた。

「小学生のおれは、ヤル気を出さなかったから野球は下手なままだし、結局嫌いなままだった。——上手いんだって、野球？」

答えはなかった。だが、^⑨満更でもない顔を宮井はしている。

「前に駐輪場で会った二人は、^(注8)遊学舎に行きながら野球も続けているのか」

「うん」

「そのことでモヤモヤしてるんじゃないのか」

「ああ……。そうかも」

「やめることになったのはきみ自身の決断？ それともお母さんにいわれて？」

「うーん、どっちも」

「自分の決断の要素もあるのか。だったら納得しろ」

「……うん」

中学校に入ってからまたやればいい、などとAことをいう気はなかった。「また今度やればいいじゃない」と何の考えもなく口にする大人がいるが、当の本人にとって、「いま」と「いつか」は重さも意味もまったく違う。圧倒的に「いま」が重要なのだ。「いつか」はその積み重ねの先にしかないのだから。

(安孫子正浩『教場の風』)

※(注1) 戸畑＝曾谷が指導する女子生徒の一人。

(注2) 禅問答＝ここでは話がかみ合わない会話のこと。

(注3) 逡巡＝決心がつかずにためらうこと。

(注4) 訝し気＝疑わしそくに不審がる様子。

(注5) 抗って＝抵抗して。

(注6) めぐみ＝曾谷の同僚。

(注7) インストール＝パソコンなどの機器に特定のソフトやアプリケーションなどを入れること。

(注8) 遊学舎＝学習塾の名前。

問1 ——①「何が悪いかを指摘するのは簡単だが、正常に作動

するようにしてやるまでが仕事だ」とあるが、これは具体的にどういうことか。最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

あ 宮井の悩みの原因を一緒に考えるだけでなく、宮井と曾谷

の間にある問題点を明確にして解決するということ。

い 宮井の行動の問題点を指摘するのと合わせて、宮井が自分

の言葉で問題点を説明できるようにしてやるということ。

う 宮井の行動を咎めずに、宮井の良い部分をしっかり認める

ことで勉強に対する宮井のやる気を引き出すということ。

え 宮井の問題点を指摘するだけでなく、宮井がきちんと勉強に向き合えるようにするのが曾谷の役割だということ。

問2 — ②「だが、求められている、と曾谷は思った」とある

が、何を求められていると曾谷は思ったのか。最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

あ 曾谷に発言の真意をたずねるような口調ではなかったが、

ヤル気が出ていないことを指摘した明確な理由が、求められていると思った。

い 曾谷の答えを求めるような発言ではなかったが、ヤル気の出ない原因がわからずに悩んでいる宮井への助言が、求められていると思った。

う 曾谷が感じていることを問いたです口調ではなかったが、

宮井の何に不満があるのかをはっきりさせることが、求められていると思った。

え 曾谷からの答えを期待する様子ではなかったが、宮井が何

につまづいているのかを真剣^{しんけん}に考えているという姿勢が、求められていると思った。

問3 — ③「ヤル気」とあるが、曾谷はそれをどのような気持ちだと説明しているか。次の文のⅠ・Ⅱにあてはまる言葉を、それぞれの（ ）内の字数指定にしたがって、本文中からぬき出さない。

ちだと説明しているか。次の文のⅠ・Ⅱにあてはまる言葉を、それぞれの（ ）内の字数指定にしたがって、本文中からぬき出さない。

※自分の中にⅠ（五字）をⅡ（十二字）気持ち。

問4 — ④「答えはなかった」から、⑤「今度は、うん、

と領いた」という宮井の態度の変化によって、曾谷の気持ちはどのように変化したか。最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

あ 宮井に届いていなくても何かを伝えなくてはという思いから、自分の言葉がしっかり伝わったという喜びに変化した。

い 自分の話がわかりづらかったかもしれないという反省から、自分の話し方がだいぶよくなったという安心に変化した。

う 宮井が自分の言葉を受け止めているのだからかという不安から、自分のたとえがよくなったという反省に変化した。

え 宮井に自分の言葉が届いているのかわからないという思いから、自分の言葉が伝わっているという確信に変化した。

問5 — ⑥「そうだ、と曾谷は領いた」とあるが、何が「そう」

なのか。最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

あ いい演奏を行うことと、何度も練習してキレ味鋭い変化球

を身につけることは、似て非なるものであること。

い ボールの握り方がわかることと、何度も練習して投げ方を体で覚えることは、次元の異なる能力であること。

う 握り方がわかったところで、繰り返し何度も投球練習しなければキレ味鋭い変化球は投げられないこと。

え 初見の譜面を演奏することはできるかもしれないが、キレ味鋭い変化球は練習せずに投げられないこと。

問6 — ⑦「小声で宮井は頷いた」とあるが、このときの「宮井」はどのような様子か。最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

あ 曾谷の話をしんぼう強く聞いていたが、ようやく曾谷の言いたかったことがわかって満足した様子。

い 自分はそんな小さなことでこんなに悩んでいたのかと気づかされて、照れくさがっている様子。

う すぐに全ては理解できないものの、悩みの正体の手がかりが見つかって少し納得した様子。

え 曾谷が当てずっぽうで言ったことが、自分の悩みを的確に言い表していて、おどろいている様子。

問7 — ⑧「ずいぶん長い間、思い出すことのなかった場所が、不意に目の前に浮かんた」とあるが、なぜ「不意に目の前に浮かんた」のか。最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

あ もし子どもの頃に野球を練習して好きになっていたら、きっとそういう場所で野球を練習しただろうと想像したから。

い かつて野球を好きになろうとして必死に練習した自分と、勉学に励む目の前の宮井の姿がどこか重なって見えたから。

う 野球は好きではなかったが、野球以外にもたくさん遊びを通して楽しい思い出を作ったことが思い出されたから。

え 宮井の話で、野球を練習しても上手くなれなかったという、忘れようとしていた苦しい記憶が呼び起こされたから。

問8 — ⑨「満更でもない顔を宮井はしている」とあるが、このときの宮井の気持ちを説明したものとして最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

あ 曾谷から唐突に野球が上手いと言われたことに、内心では喜んでいる。

い 曾谷が下手だったのに、自分は野球が上手いことを指摘されて気まずい。

う やめたことに未練のある野球の話を始めてしまったことを、後悔している。

え 授業が始まっているのに、曾谷と野球の話をし続けられることがうれしい。

問9 — Aに入る言葉として、最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

あ ピリオドを打つ

い カツを入れる

う ムシのいい

え エールを送る

問10 本文から読み取れる曾谷の人物像の説明として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

あ 相手に共感し、一緒に悩んだり悲しんだりできる感情豊かな人物。

い 生徒を子ども扱いせず、聞かれたことにも正直に答える誠実な人物。

う 相手にとって耳に心地よいことを矢継ぎ早に言う、口がよくまわる人物。

え 生徒の相談に対応しながらも授業の運営を気にする、仕事に情熱的な人物。

問11 あるクラスで、国語の時間に本文の内容について話し合った。次に示すのは、本文に登場する「宮井」の心情の移り変わりについて話し合っている生徒たちの様子である。本文の内容をふまえて、X・Y・Z にあてはまる言葉を、X は本文中から十五字でぬき出し、Y と Z は後からそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。

Aさん 曾谷とのやりとりの中で、宮井の反応が丁寧に描かれていと感じるよ。顔の動きや、特に目の描写に注目すると何がわかるかな。

Bさん 宮井ははじめ曾谷と「目を合わせない」様子だったとあるから、心を開いていないように読めるよ。でも、曾谷のたとえ話が少しずつ伝わっていくんだよね。

Cさん 曾谷が宮井の心情に「僅かに変化があったと思う」と手応えを感じているのは、野球のたとえ話をした時に「X(十五字)」つまり目が合ったからだね。

Aさん 後半の「涙の跡が残る目のまま、くすつと宮井が笑う」も、苦悩していた宮井の心がほぐれて、曾谷の発言に対してY様子を表していると思う。

Bさん 目の描写から心の動きがこれだけ読み取れるんだな。

Cさん まさにZだね。

Y あ 冗談だと理解している

い 愛想笑いで受け流している

う 少しだけあきれている

え 身構えずに素直に反応している

Z あ 目で見て口で言え

い 目は口ほどにものを言う

う 目で目は見えぬ

え 泣く子も目を見る

【三】 次の各問いに答えなさい。

問1 次の——線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなになおしなさい。

- ① ゼツボウ的な状況^{じょうきょう}を切りぬける。
- ② 力士がドヒヨウ^{どひょう}に上がる。
- ③ 虫のタグ^{たぐ}いが苦手だ。
- ④ クラスでうさを飼育^{かういく}する。
- ⑤ するどい眼光^{がんこう}に見すかされる。
- ⑥ 最後の氣力を奮^{ふる}う。

問2 次の熟語のうち、①・②は同義語（意味が同じ言葉）、③・④は対義語（意味が反対の言葉）となる熟語を、漢字で書きなさい。熟語は、後の漢字群から二字を組み合わせて答えなさい。

- ① 興味
- ② 細心
- ③ 寒冷
- ④ 集合

密 暖 心 係 散 綿 解
温 和 気 開 学 情 関

【四】 次の各問いに答えなさい。

問1 にあてはまる漢字一字を書き、ことわざを完成させなさい。また、そのことわざの意味に近いことわざを後から選び、記号で答えなさい。

- ① 報は寝^ねて待て
- ② 弘法^{こうぼう}にも の誤り

あ 馬の耳に念仏
い 待てば海路^{ひより}の日和あり
う 井の中の蛙^{かえる}大海を知らず
え 悪^{わる}の報^{むく}いは針の先
お 上手の手から水がもれる

問2 次のあ～おの四字熟語のにあてはまる漢字のうち、四つを並びかえると新たな四字熟語ができる。その四字熟語につかわれない漢字がにあてはまるものを選び、記号で答えなさい。

あ ☐売特許 い ☐味深長 う 臨機☐変
え 心機☐転 お 一☐同体

問3 次の文中の□が直接かかる言葉を、それぞれ㉠～㉣から一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 私^が ㉠先週の ㉡旅行で ㉢撮影した ㉣写真が
㉠新聞の ㉡一面に ㉢大きく ㉣載^のった。

- ② ㉠動物園で ㉡長い ㉢うしっぽを □ ㉣めずらしい
㉠さるを ㉡か友人と ㉢き一緒に ㉣見た。

問4 次の①～⑤の各文について、文法や言葉の使い方が正しければ㉠を、間違^{まちが}っていれば㉡を書きなさい。

- ① その本を読んだことのある人は、私以外にいなかった。
② 失敗したときは、うやむやにせずに原因を考えるべきだ。
③ とても暑い^{ねつちやうしやう}が、熱中症対策は万全^{ばんぜん}なので気が重い。
④ お客様もその件^{ねい}についてはお聞きしています。
⑤ 妹は、どんなに眠^{ねむ}くても決まった時刻に起きれる。

以上で問題は終わります。



桃山学院中学校 プレテスト第二回

国語 解答用紙

P		受	験	番	号	名前
	0	0	0	0	0	0
	1	1	1	1	1	1
	2	2	2	2	2	2
	3	3	3	3	3	3
	4	4	4	4	4	4
	5	5	5	5	5	5
	6	6	6	6	6	6
	7	7	7	7	7	7
	8	8	8	8	8	8
	9	9	9	9	9	9

問 10	①	問 9	問 7	問 6	問 5	問 4	問 3	問 2	問 1
②									
③									
④									
50									

[illegible][illegible][illegible][illegible]

2026年度 入試向け
桃山学院中学校 プレテスト第2回 問題

算 数

【50分・150点】

注 意 事 項

- 1 問題は1ページから5ページまであります。
- 2 解答はすべて解答用紙に記入下さい。
- 3 円周率は、3.14とします。
- 4 「開始」の合図があるまで問題用紙は開いてはいけません。
- 5 受験番号と名前を解答用紙と問題用紙に正しく記入下さい。
- 6 計算機能付き腕時計・携帯電話は使用禁止です。
- 7 「終了」の合図で鉛筆を置き、監督の先生の指示に従い下さい。

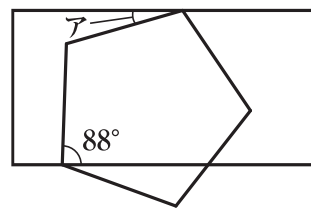
受 験 番 号					名 前
P					

1 次の にあてはまる数を答えなさい。

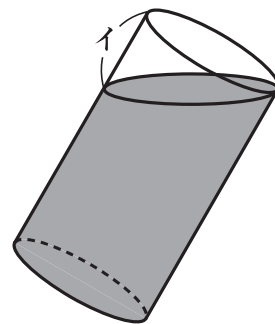
- (1) $(93 - 78 \div 3) + 17 \times 7 = \text{$
- (2) $4\frac{1}{6} \div 1\frac{7}{8} \times (1.1 - 0.875) = \text{$
- (3) $11 \times 77 \times 77 - 22 \times 66 \times \text{$ $= 11 \times 11 \times 11$
- (4) $(30\text{ha} + 500\text{a} + 70000\text{m}^2) \times 10 = \text{$ km^2

2 次の問いに答えなさい。

- (1) 1m のリボンを姉と妹で分けると、リボンは 13cm 残り、姉のリボンが妹のリボンより 9cm 長くなりました。姉のリボンは何 cm ですか。
- (2) ご石をすきまなく内側までしきつめて正方形をつくると、外側のひとまわりにならぶご石が 72 個になりました。正方形の内側と外側にならべたご石は合わせて何個ですか。
- (3) 一定の速さで走るある列車が長さ 310m の鉄橋をわたり始めてからわたり終えるのに 20 秒、長さ 640m のトンネルに入り始めてから列車全体が出るのに 35 秒かかります。この列車の長さは何 m ですか。
- (4) ビーカーとフラスコに入っている水の量の比は 2 : 3 でしたが、ビーカーに 40mL、フラスコに 30mL の水を入れたので、ビーカーとフラスコに入っている水の量の比は 3 : 4 になりました。はじめにビーカーに入っていた水の量は何 mL ですか。
- (5) 右の図のように長方形と正五角形を重ねました。
アの角の大きさは何度ですか。



- (6) 底面の円の半径が 5cm の円柱の形をした容器に水をいっぱいに入れ、右の図のようにかたむけると水が 235.5cm^3 こぼれました。イは何 cm ですか。



- 3** 1から6までの整数が1つずつ書かれた6枚のカードを使って、図のように分母が2けたで分子が1けたの分数をつくります。このとき、次の問いに答えなさい。

カード

1 2 3 4 5 6

分数

$\frac{\boxed{\text{ウ}}}{\boxed{\text{ア}}\boxed{\text{イ}}}$

- (1) つくることができる分数のうち、最大の分数と最小の分数をそれぞれ答えなさい。
- (2) $\boxed{\text{ア}}$ が5のとき、約分できる分数は何個つくれますか。
- (3) 6枚すべて使って分数を2つつくるとき、2つの分数の和は最大でいくつですか。

4 ある工場でおかしを作っています。作ったおかしは袋に6個ずつつめていきます。おかしが6個つまった袋が5袋できたら紙の箱につめます。袋がつまった紙の箱が4箱とおかしがつまった袋が3袋できたらダンボールの箱につめます。395個のおかしを作ると、ダンボールの箱が2箱、紙の箱が3箱、袋が4袋できて5個あまるので、395個は $(2, 3, 4, 5)$ と表すことにします。

このとき、次の問いに答えなさい。

- (1) ダンボールの箱1箱にはおかしが何個入りますか。
- (2) $(4, 4, 2, 0)$ から $(3, 2, 4, 1)$ をひくと何個ですか。
- (3) 73でわり切れる1個以上の数のおかしをつめると、ダンボールの箱の個数と紙の箱の個数が等しくなりました。さらに、袋の個数とあまりの個数も等しくなりました。このときのおかしの個数は最も少なくて何個ですか。

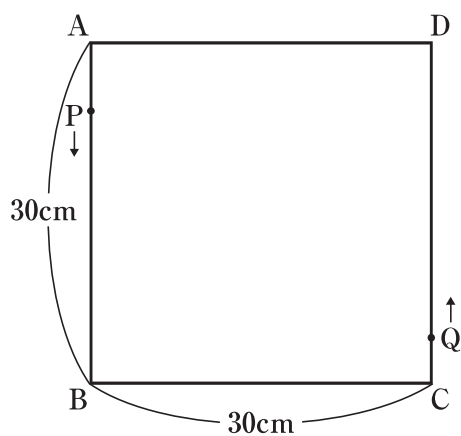
5 商店 A と商店 B が原価 200 円の同じ商品を 150 個ずつ仕入れました。商店 A は原価の 40% が利益になるように定価をつけて、2 日間ですべて売り切りました。商店 B は原価の 50% が利益になるようにつけた定価で 1 日目に何個か売り、2 日目は 1 日目につけた定価より 20% 安い値段にして残りを売り切りました。2 日間の利益は商店 B が商店 A の 85% でした。このとき、次の問いに答えなさい。

(1) 商店 B が 2 日目につけた商品 1 個の値段は何円ですか。

(2) 商店 B の 2 日間の利益は何円ですか。

(3) 商店 B が 1 日目に売った商品は何個ですか。

- 6** 下の図のような正方形 ABCD のまわりを、点 P は毎秒 3cm で点 A を出発し、 $A \rightarrow B \rightarrow C \rightarrow D$ と進み、点 Q は毎秒 2cm で点 C を点 P と同時に出発し、 $C \rightarrow D \rightarrow A$ と進みます。このとき、次の問いに答えなさい。



- (1) PQ が辺 AB とはじめて平行になるのは、2 点が出発してから何秒後ですか。
- (2) 2 点が出発してから 13 秒後の三角形 APQ の面積は何 cm^2 ですか。
- (3) PQ が対角線 AC とはじめて平行になるときの三角形 APQ の面積は何 cm^2 ですか。

以上で問題は終わりです。



202610130



2026 年度 入試向け

桃山学院中学校 プレテスト第2回
算数 解答用紙

受 験 番 号				名 前
P				
	①	①	①	①
	②	②	②	②
	③	③	③	③
	④	④	④	④
	⑤	⑤	⑤	⑤
	⑥	⑥	⑥	⑥
	⑦	⑦	⑦	⑦
	⑧	⑧	⑧	⑧
	⑨	⑨	⑨	⑨

1	(1)		(2)		(3)		(4)	
---	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--

2	(1)		cm	(2)		個
	(3)		m	(4)		mL
	(5)		度	(6)		cm

3	(1)	最大		, 最小	(2)		個
	(3)						

4	(1)		個	(2)		個	(3)		個
---	-----	--	---	-----	--	---	-----	--	---

5	(1)		円	(2)		円	(3)		個
---	-----	--	---	-----	--	---	-----	--	---

6	(1)		秒後	(2)		cm ²	(3)		cm ²
---	-----	--	----	-----	--	-----------------	-----	--	-----------------

合 計
※

2026年度 入試向け

桃山学院中学校 プレテスト第2回

解答と配点

目 次

解 答

1 国語 (50分・150点) P. 1

2 算数 (50分・150点) P. 1

配 点 P. 2

解 答

国 語

一

問1 う 問2 需要と供給の力関係 問3 う 問4 え

問5 あ 問6 I 競争 II 消費者に不利になってしまう

問7 【え】 問8 い

問9(例) 人間の労働力などの限られた資源を、余っているところから必要としてい
るところへうまく配分 [43字]

問10 ① い ② あ ③ い ④ あ

二

問1 え 問2 い

問3 I 新たな能力 II インストールしようと思う 問4 え

問5 う 問6 う 問7 あ

問8 あ 問9 う 問10 い

問11 X ようやく宮井と曾谷の顔が合った Y え
Z い

三

問1 ① 絶望 ② 土俵 ③ 類 (い)

④ しいく ⑤ がんこう ⑥ ふる (う)

問2 ① 関心 ② 綿密 ③ 温暖 ④ 解散

四

問1 ① 果・い ② 筆・お 問2 う

問3 ① う ② お

問4 ① あ ② あ ③ い ④ い ⑤ い

算 数

1

(1) 186 (2) $\frac{1}{2}$ (3) 44 (4) 4.2

2

(1) 48cm (2) 361個 (3) 130m (4) 140mL

(5) 16度 (6) 6cm

3

(1) $\frac{6}{12} \cdot \frac{1}{65}$ (2) 9個 (3) $\frac{209}{312}$

4

(1) 138個 (2) 185個 (3) 511個

5

(1) 240円 (2) 10200円 (3) 70個

6

(1) 18秒後 (2) 432cm^2 (3) 108cm^2

配 点

国 語

一 問 1…4 点
問 4…4 点
問 7…4 点
問 10…各 2 点

問 2…4 点
問 5…4 点
問 8…4 点

問 3…4 点
問 6…各 4 点
問 9…10 点

合計 54 点

二 問 1…4 点
問 4…4 点
問 7…4 点
問 10…4 点

問 2…4 点
問 5…4 点
問 8…4 点
問 11…各 4 点

問 3…各 4 点
問 6…4 点
問 9…4 点

合計 56 点

三 各 2 点

合計 20 点

四 各 2 点 (問 1 各完答)

合計 20 点

算 数

1 各 8 点

合計 32 点

2 各 8 点

合計 48 点

3 (1)(2)各 5 点 (3)6 点

合計 16 点

4 各 6 点

合計 18 点

5 各 6 点

合計 18 点

6 各 6 点

合計 18 点

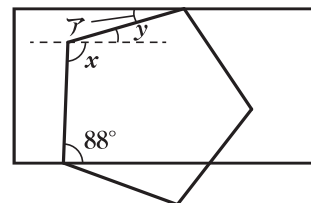
2026年度入試向け プレテスト第2回 解説

1 計算問題

- (1) $(93 - 78 \div 3) + 17 \times 7 = (93 - 26) + 119 = 67 + 119 = 186$
- (2) $4\frac{1}{6} \div 1\frac{7}{8} \times (1.1 - 0.875) = \frac{25}{6} \div \frac{15}{8} \times 0.225 = \frac{25}{6} \times \frac{8}{15} \times \frac{9}{40} = \frac{1}{2}$
- (3) $22 \times 66 \times \square = 11 \times 77 \times 77 - 11 \times 11 \times 11 = 11 \times 11 \times 11 \times (7 \times 7 - 1) = 11 \times 11 \times 11 \times 48$
 $\square = 11 \times 11 \times 11 \times 48 \div (22 \times 66) = 11 \times 11 \times 11 \times 48 \div (11 \times 11 \times 12) = 11 \times (48 \div 12) = 44$
- (4) $30\text{ha} + 500\text{a} + 70000\text{m}^2 = 0.3\text{km}^2 + 0.05\text{km}^2 + 0.07\text{km}^2 = 0.42\text{km}^2$ $0.42\text{km}^2 \times 10 = 4.2\text{km}^2$

2 小問集合

- (1) $100 - 13 - 9 = 78(\text{cm})$ が妹の 2 倍 妹は, $78 \div 2 = 39(\text{cm})$ 姉は, $39 + 9 = 48(\text{cm})$
- (2) 一辺にならぶご石は, $72 \div 4 + 1 = 19(\text{個})$ ぜんぶで, $19 \times 19 = 361(\text{個})$
- (3) 列車が $640 - 310 = 330(\text{m})$ 進むのに, $35 - 20 = 15(\text{秒})$ かかるから秒速は, $330 \div 15 = 22(\text{m})$
 20 秒で進んだ道のりは, $22 \times 20 = 440(\text{m})$ 列車の長さは, $440 - 310 = 130(\text{m})$
- (4) はじめに入っていた水の量をビーカーが② mL, フラスコが③ mL とすると,
 $(\textcircled{2} + 40) : (\textcircled{3} + 30) = 3 : 4$ $(\textcircled{2} + 40) \times 4 = \textcircled{8} + 160$ と $(\textcircled{3} + 30) \times 3 = \textcircled{9} + 90$ が等しい。
 $\textcircled{9} - \textcircled{8} = \textcircled{1}$ が, $160 - 90 = 70$ はじめにビーカーに入っていたのは, $70 \times 2 = 140(\text{mL})$
- (5) 右の図のように正五角形の頂点を通り, 長方形の辺と平行な直線をひくと, $x = 180^\circ - 88^\circ = 92^\circ$ 正五角形の内角 1 つの大きさは 108° だから, $y = 108^\circ - 92^\circ = 16^\circ$ になるので, アは 16°
- (6) 容器の底面が同じで, 高さイの円柱の体積は,
 $235.5 \times 2 = 471(\text{cm}^3)$ 底面積は, $5 \times 5 \times 3.14 = 78.5(\text{cm}^2)$
 イは, $471 \div 78.5 = 6(\text{cm})$

**3** 分数の大小

- (1) 最大の数は分母をできるだけ小さい 12, 分子をできるだけ大きい 6 にした $\frac{6}{12}$
 最小の数は分母をできるだけ大きい 65, 分子をできるだけ小さい 1 にした $\frac{1}{65}$
- (2) 分母が 51 のとき約分できる分子は, $3 \cdot 6$ 分母が 52 のとき約分できる分子は, $4 \cdot 6$
 分母が 53 のとき約分できる分子はない 分母が 54 のとき約分できる分子は, $2 \cdot 3 \cdot 6$
 分母が 56 のとき約分できる分子は, $2 \cdot 4$ ぜんぶで 9 個
- (3) つくる 2 つの分数の分子はできるだけ大きい 6 と 5 にする。分母は残った 4 つの数で 2 けたの数を 2 つ, できるだけ小さくなるようにつくるから, 12 と 34 か 13 と 24 か 14 と 23。
 つくった 2 つの分数の和が最大になるのは, $\frac{6}{13} + \frac{5}{24} = \frac{209}{312}$

4 規則性

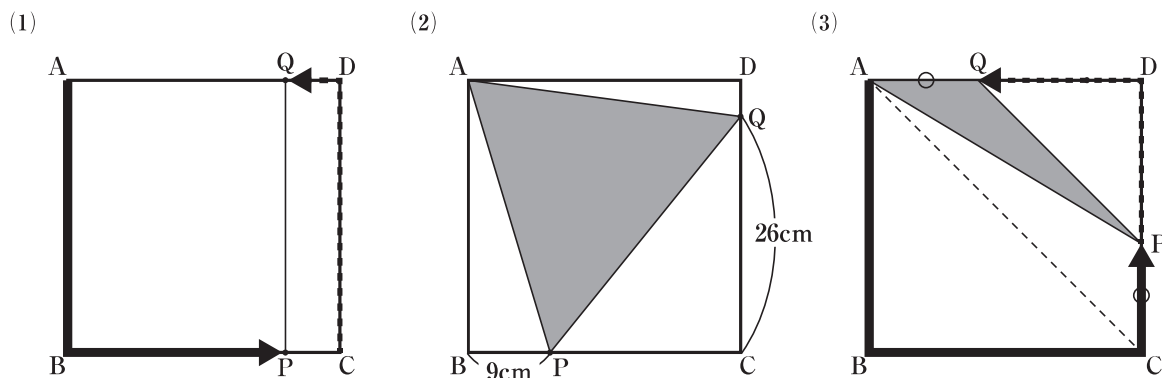
- (1) 紙の箱 1 箱は、 $6 \times 5 = 30$ (個) ダンボールの箱 1 箱は、 $30 \times 4 + 6 \times 3 = 138$ (個)
- (2) (4, 4, 2, 0)は(3, 2, 4, 1)よりダンボールの箱で、 $138 \times (4-3) = 138$ (個)、紙の箱で、 $30 \times (4-2) = 60$ (個)多く、袋で、 $6 \times (4-2) = 12$ (個)、あまりで、 $1-0=1$ (個)少ない。
よって、 $138 + 60 - 12 - 1 = 185$ (個)
- (3) (○, ○, □, □)と表すとおかしの個数は、 $138 \times \bigcirc + 30 \times \bigcirc + 6 \times \square + 1 \times \square = 168 \times \bigcirc + 7 \times \square = 7 \times (24 \times \bigcirc + 1 \times \square)$ となり、○は 4 以下、□は 5 以下で、 $(24 \times \bigcirc + 1 \times \square)$ が 73 になるとき、最も少なくても、 $\bigcirc = 3$ で $\square = 1$ だから、 $168 \times 3 + 7 \times 1 = 511$ (個)

5 割合と商売の文章題

- (1) 商店 B が 1 日目につけた定価は、 $200 \times (1 + 0.5) = 300$ (円)
2 日目の値段は、 $300 \times (1 - 0.2) = 240$ (円)
- (2) 商店 A の利益は 1 個あたり、 $200 \times 0.4 = 80$ (円) 2 日間の利益は、 $80 \times 150 = 12000$ (円)
商店 B の 2 日間の利益は、 $12000 \times 0.85 = 10200$ (円)
- (3) 商店 B の 1 日目の利益は 1 個あたり、 $300 - 200 = 100$ (円) 2 日目の利益は 1 個あたり、 $240 - 200 = 40$ (円) 150 個すべて 2 日目の値段で売れたときの利益は、 $40 \times 150 = 6000$ (円)
実際との差は、 $10200 - 6000 = 4200$ (円) 1 日目に売れたのは、 $4200 \div (100 - 40) = 70$ (個)

6 図形上の点の移動と面積

- (1) 下の図(1)のようになるときで、出発してから点 P と点 Q が合わせて、 $30 \times 3 = 90$ (cm) 進んでいる。 $90 \div (3 + 2) = 18$ (秒後)
- (2) 点 P は点 A から、 $3 \times 13 = 39$ (cm) 進み点 B から点 C に向かって、 $39 - 30 = 9$ (cm) の場所に、点 Q は点 C から点 D に向かって、 $2 \times 13 = 26$ (cm) 進んだ場所に移り下の図(2)のようになる。
三角形 ABP は、 $30 \times 9 \div 2 = 135$ (cm^2)、三角形 AQD は、 $30 \times (30 - 26) \div 2 = 60$ (cm^2)、三角形 CPQ は、 $(30 - 9) \times 26 \div 2 = 273$ (cm^2)、三角形 APQ は、 $30 \times 30 - (135 + 60 + 273) = 432$ (cm^2)
- (3) 下の図(3)のようになるときで、出発してから点 P と点 Q が合わせて、 $30 \times 4 = 120$ (cm) 進んでいる。 $120 \div (3 + 2) = 24$ (秒後) AQ は、 $30 \times 2 - 2 \times 24 = 12$ (cm)
PD は、 $30 - 12 = 18$ (cm) 三角形 APQ は、 $12 \times 18 \div 2 = 108$ (cm^2)



一 説明的文章

- 問 1 内容理解の問題です。本文では、「朝起きてから」の生活、例えば歯磨き、洗顔、朝食などに、必ず買った物が関わると説明しています。物を買うという行動は、すべてお金のやり取り、つまり経済活動の一部です。ここから、日常生活で使うものはすべて買い物に関係するため、経済活動と切り離せないという意味になっているうが正解です。
- 問 2 内容理解の問題です。答えを説明した文は、「あらゆる値段は□□によって決まる。」となっています。そこで、「値段は……によって決まる」という表現に注意しながら本文を読み進めていくと、「料金も需要と供給の力関係で決まっていきます」という部分があり、この「需要と供給の力関係」が、□□にあてはまることがわかります。本文では、物の値段は「需要」（欲しい人の数）と「供給」（売る人の数）のバランスで決まると説明しています。たとえば、欲しい人が多いと売り手は強気になり、値段が上がります。逆に、欲しい人が少ないと売り手は売るために値段を下げます。この「欲しい」と「売る」の力の関係が、「需要と供給の力関係」であり、値段を決める重要な要素です。
- 問 3 空欄にあてはまる接続語の組み合わせを選ぶ問題です。□A□は、前で「需要」と「供給」の意味を説明しており、後ではそれを「買いたい」人が「需要」、「売りたい」人が「供給」と、さらに言いかえて説明し直しています。したがって、言いかえて説明するときの「つまり」が適切です。□B□は、前には欲しい人が少ないと売り手が弱くなるという内容、後には買い手が強気になるという内容が述べられています。後の内容は、前の内容から当然出てくる結果なので、順接の「すると」や「だから」が適しています。□A□と□B□の両方が適しているのは、うです。
- 問 4 内容理解の問題です。直前で「商品やサービスが売買される社会」とあります。つまり、「市場経済」は商品（たとえば野菜や魚）だけでなく、形のないサービス（「マッサージ代や美容院のカット代」）も売買される社会だということです。物の形があってもなくても、値段がついて売買されるのですから、えが正解です。あは、「形をもたないものを除いた具体的な商品が売買される」とあるので、形のないサービスを除外しており、本文の「商品やサービスが売買される」と合わず、適切ではありません。いは、魚市場のような具体的な「いちば」を指し、「しじょう」（市場経済）ではないので、適切ではありません。うは、インターネットに限定していますが、本文は売買の方法を限っていないので、適切ではありません。
- 問 5 内容理解の問題です。問 2 で見たように、本文では、欲しい人が多いと売り手が強くなって値段が上がリ、逆に欲しい人が少ないと売り手は売るために値段を下げるという、「需要と供給の力関係」で値段が決まっていくと述べられています。これが、売りたい人と買いたい人の数が値段を決める理由です。あがこの仕組みを正確に説明しているので、正解です。いは、売り手の側についてしか述べられていないので、適切ではありません。うは、値段が上がることについてしか述べられていないので、適切ではありません。えは、売買の場所の話で、人の数と値段の関係を説明していないので、適切ではありません。

- 問6 内容理解の問題です。傍線部の直後から、「市場の失敗」についてくわしく説明されており、最初の段階として会社同士が「激しく競争」するとあるので、この「競争」という語がⅠにあてはまります。そして、競争で大企業が勝つと、他の会社がつぶれて失業者が増え、勝った企業が値段を上げると、消費者が高い値段で買わざるを得なくなります。このことを本文では「かえって消費者に不利になってしまう」と表現しているのです。この「かえって」より後の部分がⅡにあてはまります。企業が競争して大企業だけが残ると、消費者が損をすることにつながることもあるのです。
- 問7 めげ落ちていた段落を戻す位置を選ぶ問題です。めげ落ちていた段落は、「その結果」で始まり、新鮮な魚や形のいい野菜を高くはない値段で食べることができると述べられています。したがって、この段落の直前には、新鮮な魚などが手ごろな価格で手に入れられる理由にあたる内容が書かれていることになります。【え】の直前が、売る側は少しでも高く売れるように「新鮮で、形のいいもの」を売ろうとし、買う側は「いいものを安く売る人を見つけよう」とするということが述べられたところなので、自然につながります。したがって、【え】が正解です。
- 問8 内容理解の問題です。本文では、経済学者のマーシャルの「冷静な頭脳と温かい心」という言葉が紹介され、経済学者には世の中を冷静に分析する能力と、世の中を良くしたいという情熱の両方が共に必要だと述べられています。この考えにあてはまるので、い が正解です。あは、「冷静な頭脳」のためには「温かい心」が必要だという意味になっており、そのような関係ではないので、適切ではありません。うは、逆に「冷静な頭脳」が「温かい心」の役に立っているという意味になっており、やはり、そのような関係ではないので、適切ではありません。えは、社会の問題について理解するだけで終わっていて、「冷静な頭脳」による分析が欠けているので、適切ではありません。
- 問9 内容を理解し、設問の指示に従って記述する問題です。傍線部の直後からは「資源」の説明が始まっており、その中に「食料や燃料がもちろん含まれますが、それだけではありません」とあります。これが、説明する文の□の前にある「食料や燃料だけでなく」と同じ意味であることに着目します。本文では続けて、「人材つまり人間の労働力も含まれます」とあるので、「なにを」の部分は「人材つまり人間の労働力も含めた資源」にあたる内容ということになります。さらに本文では、地球上の資源が限られていることを述べ、「限られた資源を、最適に配分すること」と続けているので、「どうする」の部分は、「最適に配分する」にあたる内容ということになります。「最適に配分する」ことについて本文では、食料が大量に余る地域と食料不足で苦しむ人がいる地域があること、失業している人が多い社会と人手不足で困っている社会があることといった「アンバランス」な状況を指摘し、余っているところから足りないところへ配分することを述べています。これらを用いてまとめましょう。
- 【なにを】 人間の労働力などの限られた資源を
- 【どうすることか】 余っているところから必要としているところへ配分する
- 【指定語句】 資源・配分
- 例：※人間の労働力などの限られた資源を、余っているところから必要としているところへ
うまく配分

問10 本文の内容を理解して、それぞれの文の正誤を考える問題です。①～④の文が、それぞれ本文中のどの内容に対応しているかを探して考えていくとよいでしょう。

①は、売り手と買い手それぞれの競争でいいものが安く提供されることに対応していますが、本文には、売る側は「少しでも高く売れるように」、買う側は「少しでも安く買」えるように、「売る側も、買う側も、激しく競争する」とあるので、内容に合っていない。

②は、本文の「働けるのに働けないということは、社会の中で、自分が意味のない存在に思えてしまいます……その人の人間としての^{ほこ}誇りを失わせるものです」という内容に合っています。

③は、本文には「冷静な頭脳と温かい心」は「経済学に限ったことではありません」とあり、経済学が特にすぐれているとは述べていないので、合致しません。

④は、本文にある^{どくせん}独占禁止法についての「会社同士が健全な競争をすることは大事だけれど、その結果、かえって不公正なことになる危険性があるので、それを防ぐという狙い」という内容と合致します。

文学的文章

問1 内容理解の問題です。この問題では、「何が悪いかを指摘する」という部分と、「正常に作動するようにしてやる」という部分の適切な説明が両方とも含まれているものを選ぶ必要があります。本文では、曾谷が宮井のやる気のない態度をただ批判するだけでなく、その原因を探り、勉強に向き合えるように導こうとしています。したがって、「問題点を指摘する」「宮井がきちんと勉強に向き合えるようにする」という両方が含まれているえが正解です。

問2 登場人物の心情理解の問題です。「求められている」と思った曾谷がこのあと実際に何をしたかを^{かくにん}確認すると、宮井に対して助言を始めています。したがって、曾谷が「求められている」と思ったのは宮井への助言だと考えられます。^{せんたくし}選択肢はどれも宮井の「何でかな」というつぶやきについてもふれているので、これが曾谷に質問する口調ではなかったということもふまえて、^{せんたくし}選択肢を見ていきましょう。宮井のつぶやきについて「曾谷の答えを求めるような発言ではなかった」とあり、「宮井への助言が、求められていると思った」とあるいが正解です。

問3 内容理解の問題です。曾谷が「ヤル気」をどのように説明したかを本文から正確にぬき出す必要があります。「ヤル気」という語を確認しながら読み進めていくと、曾谷が宮井に「ヤル気」をコンピュータにたとえて説明しているところが見つかります。曾谷は、「初期化したばかりのコンピュータと同じ」で「基本的に人は最初は何も出来ない」が、コンピュータがソフトやアプリケーションをインストールするように、人間も練習や^{くふう}工夫で新たな能力を手に入れることができると話し、「ヤル気」は新しいことを自分に取り入れる気持ちだと続けています。この部分に、「新たな能力を自分のなかへ入れていくことが出来る」「インストールしようと思う気持ちが、ヤル気だな」とあるので、Iは「新たな能力」、IIは「インストールしようと思う」が当てはまります。

問4 登場人物の心情理解の問題です。本文を確認すると、④の段階では、曾谷は自分の言葉が宮井に届いているか「^{わか}判らない」と感じっていますが、⑤では、宮井が^{うなず}頷いたことで「伝わって

いる」と思っています。この変化を正確に表しているえが正解です。あは、④での「届いていなくても何かを伝えなくてはという思い」は述べられていますが、⑤の時点で曾谷について「喜び」ということは述べられていないので、適切ではありません。いとは、曾谷の反省について述べていますが、そのようなことは本文では述べられていないので、適切ではありません。

問5 内容理解の問題です。「そう」は指示語であり、直前で宮井の言った変化球についての「(いくら投げ方を教わっても)練習しないとすぐには上手くできない」という言葉を指しています。変化球の練習の必要性をとらえているうが正解です。あは、演奏と変化球とを比べた話題になっており、適切ではありません。いは、教わって投げ方がわかることと練習して身につけることとのちがいがという点では正しい内容ですが、それについて「次元の異なる能力」と表現しているのが適切ではありません。えは、初見の譜面の演奏ができることと変化球が投げられることを並べていますが、曾谷の説明の中で、初見の譜面の演奏は練習して「いい演奏」ができるようになるとあり、続けて「変化球も同じ」とあるので、適切ではありません。

問6 登場人物の心情理解の問題です。本文で、宮井は曾谷の話に「……かも」と同意を示していますが、小声であることから、まだ明確に理解し、納得しきってはいないことが読み取れます。このびみような納得の様子を表現しているうが正解です。あは、「満足した」が「小声」と合わないのが、適切ではありません。いは、「小声」は自分の悩みを「小さなこと」と思ったということの表れではなく、「照れくささ」は後の笑みの場面で出てくるものなので、この時点ではまだ早いので、適切ではありません。えは、「曾谷が当てずっぽうで言った」は本文の「きっとそうに違いない」という曾谷の思いと合わず、「おどろいている」も「小声」と合わないのが、適切ではありません。

問7 登場人物の心情理解の問題です。本文で、曾谷は野球が嫌いだったが、練習すれば上手くなり、楽しかったかもしれないと想像しています。「不意に目の前に浮かんだ」のは、「公園」や「小学校の裏」、「友だちが住んでいた集合住宅の中庭」という、野球をして遊ぶような場所です。宮井から「もし、練習してたら?」と聞かれたことで、もし自分が練習して野球を楽しめるようになっていたら、こうした場所で友だちと野球をしていただろうというイメージが浮かんだのです。この想像を表現しているあが正解です。いは、「野球を好きになろう」として必死に練習した」が本文と合いませんし、宮井との重なりも述べられていないので、適切ではありません。うは、野球以外の遊びの思い出については述べられていないので、適切ではありません。えは、「忘れようとしていた苦しい記憶」ということは述べられておらず、ここではむしろ楽しかったかもしれない「もし」の場合のイメージなので、適切ではありません。

問8 語句の知識と登場人物の心情理解の問題です。「満更でもない」は、必ずしもいやというわけではないという意味で、よい感情を遠回しに表す言葉です。曾谷が「上手いんだって、野球?」と聞いたことに対して宮井は答えないものの、内心では否定せず喜んでいたという場面です。したがって、あが正解です。いは「気まずい」が、うは「後悔」が、「満更でもない」の意味と合わないのが、適切ではありません。えは、「うれしい」内容が「上手いんだっ

て」と言われたことではなく、「授業が始まっているのに……野球の話をし続けられること」になっているので、適切ではありません。

問 9 空欄にあてはまる言葉を選ぶ問題です。曾谷が「中学校に入ってからまたやればいい」などと言わないのは、この言葉を A ことだと思っているからです。したがって、 A にあてはまるのは、あまりよくない意味の言葉になります。あとに、「『また今度やればいいじゃない』と何の考えもなく口にする大人がいる」と批判していることから、この言葉を否定していることがわかります。「ムシのいい」は「自分勝手に都合の良い」という意味で、こうした大人の態度を表すのに合っているので、うが正解です。あの「ピリオドを打つ」は「文の終わりにつける句点（。）にあたるものを打つ」という、終わりを意味する言葉ですが、話や野球を終わりにするという意味のことをここで曾谷が言う流れではないので、適切ではありません。いの「カッを入れる」やえの「エールを送る」は「はげます」「応援する」という意味なので、良い意味合いになるため、適切ではありません。

問 10 登場人物の人物像理解の問題です。本文で、曾谷は宮井の悩みに真剣に向き合い、野球が嫌いだった過去を正直に話すなど、対等に接しているので、この誠実さを表現しているいが正解です。あは、「共感」はありますが、「一緒に悩んだり悲しんだり」ということではないので、適切ではありません。うは、「耳に心地よいことを矢継ぎ早に言う」といったことは書かれておらず、「口がよくまわる」というよりも、じっくり考えながら発言しているので、適切ではありません。えは、確かに授業の運営を気にしている場面はありますが、それが中心ではなく、むしろそれをあきらめてでも宮井との話を続けようとしているので、適切ではありません。

問 11 内容理解の問題です。 X は、直後に「つまり」と言いかえて説明し直すときの接続語が使われているので、あとにある「目が合った」と同じ意味の言葉があてはまることがわかります。「野球のたとえ話をした時」で「目が合った」と同じ意味になる部分を探すと、「ようやく宮井と曾谷の顔が合った」が見つかります。 Y は、曾谷の話に対する「くすつと宮井が笑う」という反応が、どのような意味を持つのかに着目しましょう。空欄の直前に「苦悩していた宮井の心がほぐれて」とあることから、曾谷に対する宮井の態度が和らいでいると読み取れます。したがってえがあてはまります。 Z は、目の描写が心情を表すことに対応するので、目が口と同じように心情を語るという意味を持ついの「目は口ほどにものを言う」が正解です。

漢字・語句

問 1 漢字の読み書きの問題です。①「希望を失うこと。期待することが全くできないこと」という意味の「絶望」です。②相撲で力士が戦う場所の「土俵」です。③「種類」の意味の「類（い）」です。「類」の音読みは「ルイ」です。④「飼育」は「動物を飼育すること」という意味です。⑤「眼光」は「物を見つめるときなどの目の光」のことですが、この文のように、「物事の本質を見ぬく力」という意味で用いることもあります。⑥「奮」の音読みは「フン」で、「奮発」「興奮」などの熟語に用います。

問 2 同義語と対義語の問題です。①「興味＝関心」という同義語です。②「細心＝綿密」とい

う同義語です。③「寒冷⇔温暖」という対義語です。④「集合⇔解散」という対義語です。

四 語句・言葉のきまり

- 問1 ことわざの知識に関する問題です。ことわざとは、昔から言い伝えられてきた、教訓などを含んだ短い言葉のことです。日常生活の中で見たり聞いたりしたことわざがあったら、ことわざの本や辞書で意味を覚えましょう。①は、「果報は寝て待て」で、「良い知らせ（幸福）の訪れは人間の力ではどうすることもできないから、あせらずにただ待っているのがよい」という意味です。「待てば海路の日和あり」が近い意味の言葉です。②は、「弘法にも筆の誤り」で、「弘法大師のような書の名人でも書きまちがえることがあるように、得意な人でも失敗をすることがある」という意味です。「上手の手から水がもれる」が同様に、「上手な人でも失敗をすることがある」という意味です。
- 問2 四字熟語の知識の問題です。あは「その人だけが得意な技術・方法」という意味の言葉で「専売特許」と書きます。いは「意味が深いこと、表面上の意味以外に別の意味がかくされていること」という意味の言葉で「意味深長」と書きます。うは「その場に応じて適切な行動をとること」という意味の言葉で「臨機応変」と書きます。えは「何かのきっかけで気持ちをすっかり変えること」という意味の言葉で「心機一転」と書きます。おは「複数の人が心をつにして行動すること」という意味の言葉で「一心同体」と書きます。□の中に書く五つの漢字（専・意・応・一・心）のうち四つを使って作れる新たな四字熟語は、「一つのことに気持ちを集中すること」という意味の「一意専心」です。したがって、つかわれない漢字は「応」なので、うが正解です。
- 問3 かかる言葉を選ぶ問題です。主語が述語にかかる場合と、修飾語が修飾される語にかかる場合がありますが、どちらの場合も、直接かかる言葉の直前に移動させても、もとの言葉と意味が変わらないという特徴があります。①「私が」を、たとえば「載った」の直前に移動させると、「先週の旅行で撮影した写真が新聞の一面に大きく私が載った」となります。この文では、「私が」新聞の一面に載ったという意味になりますが、元の文では一面に載ったのは写真なので、意味が変わっています。したがって、「私が」は「載った」にはかかっていないということになります。同様に考えていけば、「私が」の位置を直前に移動できるのは、「撮影した」です。「先週の旅行で私が撮影した写真が新聞の一面に大きく載った」となり、元の文と意味は変わりません。したがって、⑤の「撮影した」が正解です。②「もつ」は、①の「私が」とはちがひ、これだけでは何のことかわかりません。前にある「長いしっぽを」とひとまとまりになった「長いしっぽをもつ」にして意味がわかるようになるので、このひとまとまりで移動させます。すると、たとえば「友人と」の直前に移動させると、「長いしっぽをもつ友人」となり、元の文とは意味が変わります。元の文では、長いしっぽをもつのは「めずらしいさる」です。「さる」の直前に移動させると、「動物園でめずらしい長いしっぽをもつさるを友人と一緒に見た」なら、意味は変わりません。したがって、㊦が正解です（ただし、移動させたあとの文は、このままでは「めずらしい」が「しっぽ」のことなのか「さる」のことなのかの区別がつかない文になっているので、「めずらしい」のあとに「、」をつ

けて、「動物園でめずらしい、長いしっぽをもつさるを友人と一緒に見た」のようにして、「めずらしい」が「しっぽ」ではなく「さる」にかかることを明らかにする必要があります)。

問 4 日本語全般に関する問題です。

① この文の主部は「その本を読んだことのある人は」、述部は「私以外にいなかった」で、主部・述部が対応しているので、特に問題はありません。したがって、正しい日本語です。

② 「うやむや」とは、「はっきりしない、あいまいなまま」という意味なので、この文は「失敗したときは、はっきりしないままにせずに原因を考えるべきだ」と言い換えることができ、特に問題はありません。したがって、正しい日本語です。

③ 「万全」^{ばんぜん}とは、「完全なこと、手落ちがないこと」という意味であり、「気が重い」とは、「何らかの理由があって、やる気が起きない」という意味なので、この文は、「とても暑いが、熱中症対策は完全にできているので、やる気が起きない」となります。熱中症対策が不完全だからやる気が起きないというのなら意味が通じますが、対策は完全なのにやる気が起きないというのは、意味が通じません。したがって、この文は、日本語としてはまちがっています。

④ 敬語の知識の問題です。「お客様もその件については知っている」という内容なので、「お客様」の行動に対して敬意を表します。この場合、尊敬語^{そんけいご}を用います。「聞く」の尊敬語は「お聞きになる」「聞かれる」なので、「お聞きしています」という部分が誤りです。なお、「お聞きする」とは、自分の行動をへりくだって表現することで相手（受け手）に敬意を表す謙譲語^{けんじょうご}です。

⑤ この文の述語は「起きれる」ですが、これは「起きられる」が正確な言い方です。「起きれる」は「ら」がぬけた「らぬき言葉」というものになってしまっているので、この文は、日本語としてまちがっています。